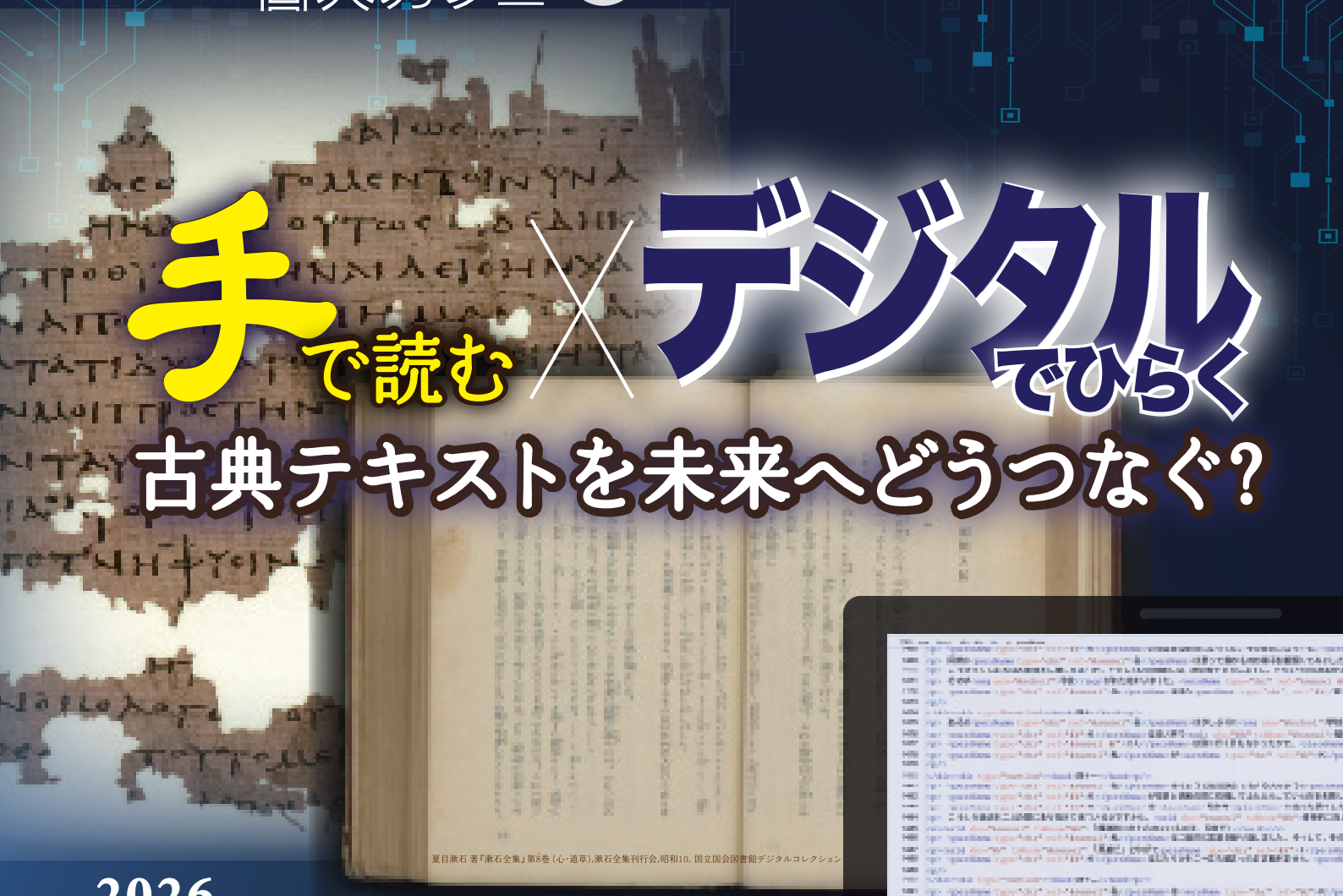
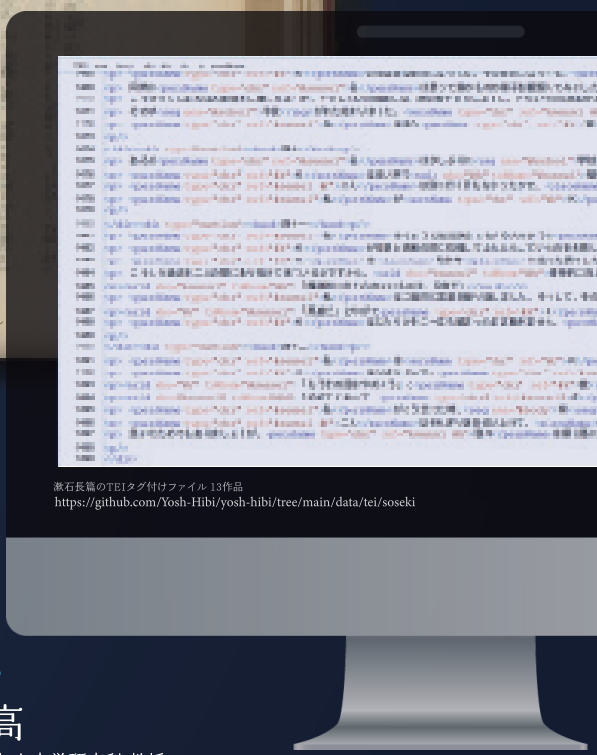
SCIENCE, AND SME 名大カフェ 127



手で読む × デジタルでひらく
古典テキストを未来へどうつなぐ？



漱石長篇のTEIタグ付けファイル 13作品
https://github.com/Yosh-Hibi/yosh-hibi/tree/main/data/tei/soseki

2026
4.10（金）
18:30-20:30

コモンネクサス LOAM HALL
（名古屋大学駅 1 番出口直結）

先着80名
要申込・無料

ABOUT

文学作品の原本に向き合い、書き手の息づかいを読み取る——そんな丁寧な営みが文学研究を支えてきました。一方で、デジタル化やAI解析が進展し、作品どうしのつながりや、これまで見えなかった特徴が浮かび上がるなど、研究の手法は大きく広がりつつあります。手書きから印刷、デジタル化、AIといった変化の中で、古典の「テキスト」は、文字列として、構造を持ったデータとして扱われ、研究にさまざまな視点をもたらしています。

本イベントでは、日本文学・西洋古典それぞれの事例を手がかりに、読み継がれてきた古典のテキストを、どのようなかたちで未来へ引き渡していくのかを考えます。この先100年の人文学について研究者とともに考える、開かれたトーク＆座談会です。

SPEAKERS

日比 嘉高
名古屋大学大学院 人文学研究科 教授

岩田 直也
名古屋大学 デジタル人文社会科学研究推進センター 准教授

海野 圭介
早稲田大学 教育・総合科学学術院 教育学部 教授

加藤 弓枝
名古屋大学大学院 人文学研究科 准教授

共催

名古屋大学大学院 人文学研究科
名古屋大学 デジタル人文社会科学研究推進センター
名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部

詳細・お申込は
こちらから